

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、いつ、どこで、地震が起きるかわからない日本の現状を突き付け、災害への備えの必要性を強く印象付けた。災害時に最も必要なものの一つは、「情報」である。また、災害に備えるためにも「防災」に関連する知識・理解は不可欠であり、災害後の復旧・復興には、「まちづくり」の視点からの情報や教育は欠かせない。

災害時において、最も重要なものの一つである「情報」を正確かつ迅速に届ける役目を果たす地域の企業として、ケーブルテレビがある。ケーブルテレビは、日頃から、学校現場に足を運んで、学校行事や学校教育に関する番組を制作する他、防災をテーマにした番組制作にも力を尽くしている。

レジリエント社会を実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠である。とりわけ、今を生き、未来を創る子どもたちと共に、助け合いを学び、共に成長していくことが求められる。本シンポジウムでは、複数地域のケーブルテレビ及び教育関係者と地域の方々、保護者、小・中・高・大学生、教職員と対話を重ね、国立教員養成系大学が、レジリエント社会の実現に向けて果たすべき役割について、多様なステークホルダーと共に考える場を創ることをめざしたい。

主催：国立大学法人愛知教育大学 共催：一般社団法人国立大学協会

愛知教育大学未来共創プラン戦略2「教育のプラットフォーム構築プロジェクト」

地域社会と共に創る

We and local community co-create the Disaster prevention education and Urban development

防災学習とまちづくり

— レジリエント社会の実現を目指して —

令和6年 **12月21日** (土)

13:00 ~ 17:00

国立大学法人愛知教育大学 本部棟3階 第一会議室



申込は左記二次元コードから

締切:

12月16日(月)

シンポジスト

津島市教育委員会 教育長 浅井厚視氏
津島市立蛭間小学校 校長 川口歩氏
津島市立蛭間小学校 教務主任 水野泉氏
蛭間小学校区防災キャンプ担当 牛田富也氏
西尾張シーエーティーヴィ株式会社 代表取締役社長 中野治也氏

常滑市教育委員会 教育長 土方宗広氏
知多市立つつじが丘小学校 教頭 福島秀一氏
常滑市立南陵中学校 生徒10名
知多半島ケーブルネットワーク株式会社 代表取締役社長 江口正洋氏

刈谷市教育委員会 教育長 金原宏氏
刈谷市立依佐美中学校 生徒3名
株式会社キャッチネットワーク 感動メディア1課 課長 武田尚也氏

タイムテーブル

12:30 受付開始
13:00 開会のあいさつ
13:10 第I部 シンポジウムの趣旨説明
13:20 津島市教育委員会・蛭間小学校・西尾張CATVの登壇、発表
13:55 常滑市教育委員会・南陵中学校・知多半島ケーブルネットワークの登壇、発表
14:30 刈谷市教育委員会・依佐美中学校・キャッチネットワークの登壇、発表
15:00 休憩
15:10 愛知教育大学の発表
学生による防災の取り組み・子どもキャンパス
15:30 第II部 グループディスカッションの趣旨説明
15:40 グループディスカッション
16:40 全体交流・振り返り・アンケート記入
16:55 閉会のあいさつ
17:00 終了

問い合わせ

国立大学法人愛知教育大学 学術研究支援課

TEL:0566-26-2109/2417

FAX:0566-26-2210

Mail:renkei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

一般社団法人国立大学協会 2024年度
レジリエント社会・地域共創シンポジウム